

がん患者、難病患者
大げが・手術…

石破政権がねらう

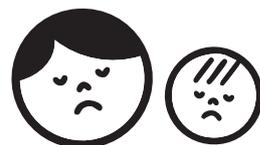
高額療養費 負担大幅増

 「命にかかわる」 

計画撤回を 日本共産党

医療費が高額になった患者の自己負担を一定に抑える「高額療養費制度」をめぐり、石破政権が負担額を引き上げようとしていることに、がん患者や難病患者から「治療が続けられなくなる、命にかかわる」と悲痛な声があがっています。

上限8万円が13.9万円に上がるケースも



高額療養費の自己負担は、年収などに応じて上限月額が決められています。政府は段階的に引き上げる方針で、平均的な年収区分(約37

0万~770万円)で最も負担が重くなるケースでは、現行の月約8万円が、3年後には5万9000円増の月約13万9000円にはねあがります。

トへの回答から
全国の緊急アンケート

小さな子どもがおり、この子を遺して死ねません。高額療養費制度を使っていますが、支払いは苦しいです。引き上げされることを知り泣きました。

(20代・がん患者)

乳癌治療中です。現在毎月93000円支払っています。子どもは4月から大学生と中学1年になります。扶養内パートをしながら、毎日生きています。生活ギリギリです。

(40代・がん患者)

親が頑張っている姿を見えています。まだ40代で毎日忙しく働いていた中の告知、ショックを受けているはずなのに、そんな姿は見せません。頑張っている人達をこれ以上、無理させないで下さい。

(10代・がん患者の家族)

患者の声にこたえよ

長期にわたって継続した治療が必要な患者・家族は、負担引き上げで生活が成り立たなくなり、あるいは治療継続の断念を迫られます。方針の撤回を強く求めます。

医療・介護の負担増は、今もお困りの方だけでなく、今は元気な若い世代の将来にも影響します。負担軽減へ、舵を切らせましょう！

青梅市議会議員

「なんでも相談」

090-8489-5260
inouetakashi99@gmail.com

井上たかし

